

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
業	① 指標名	高齢者、身体・知的障害者の施設定員に対する1日平均利用者数（デイサービス等利用者数）			目標値	100%以上	実績値	89.5%
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	89.5%	達成状況	未達成
	(単位: %)	88.7	88.2	81.6				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○ 人事異動による職員体制の見直しなど、施設の雰囲気を変え、利用しやすい施設運営を目指した。（桜堤ケアハウス） ○ ふれあいやウイズで重度心身障害者を受け入れるなど、積極的に利用者の受け入れを増やした。 ○ 夏期や年度末の休止日を極力減らし、利用者が利用しやすいようにした。（障害部門）						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ すべての施設で利用実績が100%を超える利用を目標に運営したが、障害者部門94.7%、高齢者部門80.0%と高齢者部門の利用実績が伸び悩んでいる。高齢者部門では、桜堤ケアハウスのデイサービスセンターが76.2%と特に悪いが、桜堤地域には多くの高齢者施設があるほか、隣接する西東京市や小金井市の事業者も市内に参入していることの影響が大きい。 ○ 年度当初、好調だった施設も年末から年初にかけて感染性胃腸炎やインフルエンザが流行したことにより、利用実績が下がってしまった。						
二次評価	目標達成に向けた取り組みを評価する。サービスの質の向上や広報等強化を行い、利用者の増加に努めていただきたい。							
務	② 指標名	介護保険・自立支援費等収入の確保			目標値	1,000,000	実績値	939,782
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	94.0%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	831,069	846,727	894,489				
	取組内容	※27年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○ 稼働率が低い施設の稼働率を上げ、自立支援費の確保につとめた。（障害部門） ○ 職員研修を充実させ、レベルアップを図ることでサービスの向上に努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ 毎年度、着実に報酬額を増やしているが、目標には達していない。さらなる利用登録者増に努め、目標達成したい。 ○ 利用登録者数同様、年末から年初にかけての感染性胃腸炎やインフルエンザの流行により、利用者の欠席が増加し、介護報酬が減少してしまった。施設内の感染症の流行には最大限の注意をはらっているが、高齢者や障害者は感染しやすいので、今後も注意する。						
二次評価	目標は未達成だが、実績値は向上が見られる。引き続き、サービスの質の向上や広報を強化し、利用者の増加を図り、収入確保に努めていただきたい。							
内 部 管 理	③ 指標名	人件費率の縮小（正規職員給与の抑制及び臨時職員の処遇改善と効果的な人事給与制度の確立）			目標値	65%	実績値	69.5%
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	93.5%	達成状況	未達成
	(単位: %)	69%	66%	67%				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○ 独自給与表の導入や賞与の支給率を独自に定めるなど、正規職員の給与を抑制した。 ○ 平成28年度中に見直す予定だった、正規職員の手当などについては、非常勤職員の処遇と同時に見直すこととし、平成29年度に見直すことにした。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ 福祉人材の確保が困難な状況が続いており、非常勤職員の確保が困難になっている。そのため、正規職員を採用する必要性が高まっており、人件費率が高くなってしまった。 ○ 平成29年6月の賞与についても、1.9か月に抑えるなど人件費の抑制に取り組んでいる。 ○ 正規職員と非常勤職員の給与をはじめとする処遇改善について、平成29年度中に検討をし適正な給与水準にするとともに、職員の確保にも努める。						
二次評価	予定している見直しを着実にやり、給与を抑制しつつ、キャリアアップ制度や福利厚生の充実など、福祉人材の確保につながる工夫をしていただきたい。							